サービス)は，自称どおり「お手本」になるプログラムを持っている．「主流医療を補完し，患者と家族の情緒的，社会的，霊的(スピリチュアルな)ニーズに取り組む」ことを目標に掲げ，現在では1か月1000人以上の外来患者が利用している(**表3**)．ただし，入院患者には臨床治験以外でのサプリメントの使用を禁じているとのことである．

臨床以外では研究，教育，トレーニングが事業のなかに含まれている．研究プログラムには大きく2つの構成要素がある．

1）QOL研究

疼痛や吐き気，倦怠感などの症状を緩和するもの．または，うつや不安を軽減するもの．終末期の患者への疼痛緩和ケア．対象になる療法は，鍼，指圧，その他のマッサージセラピー，音楽セラピーなど

2）植物学研究

薬草やキノコなどのなかには，がんへの効果，症状の緩和，生存期間の延長などが報告されているものがある．通常医学と併用が可能な療法とその有効性を，ラボでの研究と臨床治験で証明する努力

現在は，「がん患者の慢性息切れへの鍼術」「インターフェロンを使えない慢性C型肝炎患者への小柴胡湯」などの5つの臨床治験が進行中で，乳癌の化学療法を受けている患者へのマイタケの臨床治験などを計画中とのことである．

このセンターは，病院を訪れる患者だけでなく一般大衆に向けてインターネットでサプリメント(薬草，ビタミン，ミネラルなどを含む)の膨大な情報を無料公開している(**図**)．サプリメント名での検索，あるいはアルファベットでも探せる図鑑形式で，それぞれのサプリメントにつき消費者用と医療従事者用の情報ページがある(**表4**)．ここには「AHCC，MGN-3，ノニ，サメの軟膏，IP-6」など，インターネットでよく見かける療法も載っているが，その評価はどうだろう．

表3　メモリアル・スローン・ケタリングがんセンターが提供する統合医療

タッチ療法
・リフレクソロジー(足裏反射療法)
・指圧
・スウェーデン式マッサージ
・アロマセラピー・マッサージ
マインド－ボディ介入法
・瞑想
・霊気
・ポラリティ
・催眠療法
創造的療法
・音楽セラピー
・サウンドセラピー
鍼術
食事と薬草に関するカウンセリング
臨床医によるコンサルティング
教育
・患者，家族，地域住民を対象にした講演．

メモリアル・スローン・ケタリングがんセンターのサイトより抜粋，図表化

たとえば，「細胞に酸素を供給することでガン細胞を殺す」という療法の数々をひとまとめにした「Oxygen Therapies(酸素療法)」に対しては，最初の臨床サマリーの冒頭から「証明されていない代替療法と製品」と批判し，「広告されている効果にはまったく科学的なエビデンスがない．研究は，酸素ががんを予防することも，ガン細胞の増殖を抑えることも証明していない．……たとえ製品に業者の表示している量の酸素が含まれていたとしても，酸素が消化器官から吸収されることは，ほぼない．……アメリカがん協会は患者にこれらの療法を受けないよう強く勧めている」と締めくくっている．またサマリーを裏づける作用機序と薬物動態は科学的で，副作用の項では死亡例とその死因を挙げ，情報源となっている文献のすべてが載っている．

しかし，懐疑的な批判に偏っているわけではない．たとえば，日本でもよく耳にするポリネシア系のフルーツ「ノニ」に関しては，まず「数

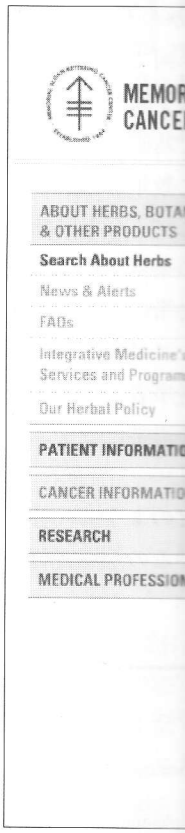

図　メモリアル・

種の多糖体，アン
作用していると思
用と免疫調整作用
ワイ大学ががん患
を実施している．
は記録されていな
れているため，報
する」とまとめら
用機序は不明であ
体が豊富な物質が
肺癌を移植した
る」と始まる作用
いる作用が詳しく
リウムを含んでい
てはならない」で
将来有効性が証明